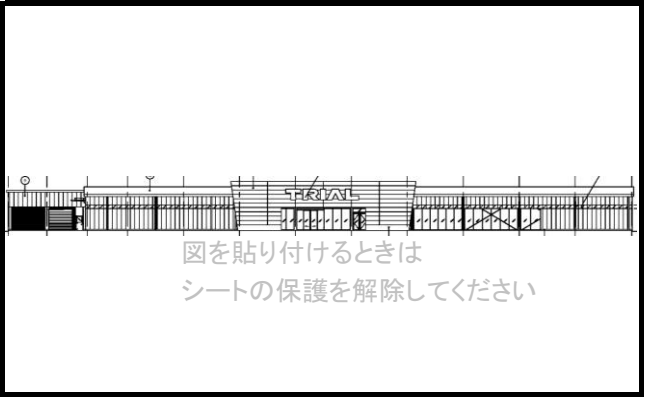


CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋建築環境性能評価システムマニュアル2016 | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)TRIAL名古屋秋葉店 新築工事	階数	地上1F
建設地	愛知県名古屋市中区秋葉2丁目1番17号(仮称) 名古屋市中区秋葉1丁目1番1号(仮称) 名古屋市中区秋葉1丁目1番1号(仮称)	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、第2種住居地域、準防火地域	平均居住人員	50~60人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2021年3月8日
敷地面積	15,852 m ²	作成者	
建築面積	5,522 m ²	確認日	2021年3月8日
延床面積	5,423 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE1.0 ★★★★★☆

★: S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★★ B-: ★★★★★★ C: ★★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆ 100%超 ☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆ 60% :30%

標準計算

- ①参照値
- ②建築物の取組み
- ③上記②以外の
- ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	<ul style="list-style-type: none"> 適切な量の駐車場と駐輪場を設け、渋滞の発生に極力配慮 24時間営業の施設であり照明の光害に配慮 	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> 使用する建築材料は全てF☆☆☆☆とする 	<ul style="list-style-type: none"> 床面には防汚性のある材料を使用し、メンテナンス性を向上させる 階高の確保および壁長さ比率を小さくし、空間にゆとりをもたせた 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な緑地づくりを行う
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> BPI_m=0.96 BEI_m=0.75 	<ul style="list-style-type: none"> 節水コマや大便器の擬音モードを採用することで節水に努める LGSの使用で躯体と仕上げ材の分別が容易、解体廃棄時のリサイクルを促進する 店舗の床にはVOC対策のあるビニル床タイルを使用 	<ul style="list-style-type: none"> ライフサイクルCO₂排出率79% 屋内外照明のうち外に漏れる光と、広告物照明の光害対策を確実に実施

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される




重点項目スコア・結果シート

(仮称)TRIAL名古屋秋葉店 新築工事

- 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2
- 評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.3
LR1	エネルギー	3.2	0.4	/
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.8	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				1.6
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	/
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				3.2
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	/
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.1	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

結果

1. 温暖化対策	評価点 = 3.3	
2. 自然共生	評価点 = 1.6	
3. 循環型社会	評価点 = 3.2	

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。